



これまでも これからも 支えて つなぐ 80年

八十年
ありがとう。これからも一緒に。

赤い羽根共同募金運動はじまる 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。



募金には自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所

令和7年度の
募金実績額は、
897万6837円

日本でも共同募金運動が始まり、今年で80年目になります。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活や意識も変わってきました。このような時でも人々がともに生きていこうという「たすけあい」の心は変わらずに、人々の幸せを願って、今年も共同募金運動が実施されます。

たすけあいの心



社協だより

226号

令和8年10月号

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

昨年度に市内で集まった募金は、全て福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審査の後、市社会福祉協議会を含む申請団体などに配分されました。この募金は、集まった額の約7割が宗像市に戻ってくる仕組みになっており、

令和7年度の
募金の使いみち

令和7年度は、みなさんのご協力で897万6837円の募金が集まりました。ありがとうございます。

学校、福祉団体を対象にバツジなどの資材を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法があります。

身近な地域の福祉活動に役立てられています。昨年度に集まった募金は「令和7年度共同募金の使いみち(表1)」のように有効に活用されています。共同募金は、募金をした地域で生きる寄付金です。

令和8年度の
募金目標額

共同募金は、募金が集まってから使いみちを決める募金ではありません。

事前に地域福祉活動の計画を立て、この使いみちに必要額を「目標額」とします。今年度の目標額は、昨年度実績と同額の897万6837円です。今後も安定的に継続して地域福祉事業を行うため

の「目標額」です。

一世帯
7000円の目安額

市全体の目標額を達成するために、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいのか」ということが分かりにくいので、



「二世帯7000円を目安に協力していただくと、計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせしています。

範囲内でのご協力をお願いします。

多くの人に
支えられている
共同募金

「令和7年度共同募金実績額内訳(表2)」をみると、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。

また、地域のいろいろな場面で、自治会長や隣組長、事業所や公共施設、福祉団体、学校の先生や児童、生徒のみなさんなど多くの協力で成り立っています。

一人一人のたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、

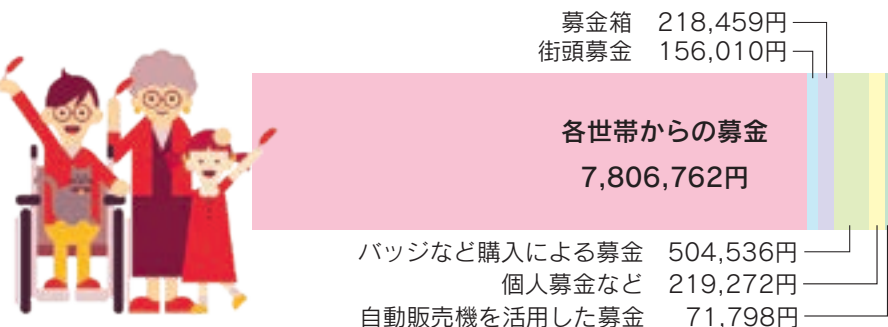
令和7年度 共同募金の使いみち (表1)

昨年度集まった、みなさんからの募金は令和8年度に下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさんのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。



宗像市内で活用したもの	金 額
高齢者の福祉に ●在宅介護者家族の会の支援 ●シニアクラブ連合会への助成金 ●配食サービスボランティアの支援	840,000円
障がい児・者の福祉に ●身体障害者福祉協会の支援 ●あじさいの会への助成金 ●手話講習会への助成金 ●あゆみの会への助成金 ●声の広報配布事業の支援 ●要約筆記ボランティアの支援 ●おもちゃ図書館運営の支援 ●宗像コスモス会への助成金	1,547,000円
ボランティア活動に ●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援 ●大島地区ボランティア団体への助成金	534,000円
福祉会活動の支援に ●地域住民の自主的な地域福祉活動 ●民生委員児童委員協議会への助成金 ●福祉に関する情報提供や啓発活動	2,776,000円
児童・青少年の福祉に ●市内幼稚園、保育園、小中学校、高校への福祉教育推進事業 ●小学校での車いす体験や手話体験などの福祉教育事業	198,000円
子育て支援活動に ●地域福祉文庫連絡協議会の支援 ●NPO法人むなかた子育てネットワークこねっとへの助成金 ●母子寡婦福祉会の支援	159,000円
県内広域で活用したもの	金 額
その他、県内の福祉施設への支援、災害ボランティア活動など	2,922,837円

令和7年度 共同募金実績額内訳表 (表2)



より住みよい地域をつくるべく、いく原動力となります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

災害等準備金の
積み立て

県共同募金会では毎年、県内で起こった災害に備える災害等準備金を積み立てています。

近年は災害が多く発生し、災害ボランティアセンターが開設される機会も増えています。この際に同準備金が活用され、センターの運営を支えます。毎年みなさんからご協力いただいている赤い羽根共同募金が災害ボランティア活動も支えています。

赤い羽根共同募金配分団体の紹介

在宅介護の悩みや苦労は、一人で悩まず！
抱え込まず！仲間と語り合い！
分かち合って！支え合って！

宗像市在宅介護家族の会ひまわり 会長 岩隈 涼子

私たち宗像市在宅介護家族の会「ひまわり」は、介護の悩みや困難を持つ仲間の会として25年前に発足しました。

認知症や介護を必要とする家族を抱えて毎日奮闘している在宅介護者の悩みは、百人いれば百通り、さまざまです。

- いつまで続くか分からない時間に縛られる介護の心理的ストレス。
- 家族や周囲の人に「介護」の苦労を分かってもらえない、心の悩みや孤独感。
- 被介護者とのコミュニケーションや、人としての関係性の悩み。
- 24時間、夜中も休むことのない介護、ひと

ときも気が休まらない介護。

- 認知症高齢者の言動に傷ついたり頭を悩ます日々。
- 介護者自身が高齢、または病弱な中での介護の大変さ。

このような困難を抱える中、主に在宅で介護に携わっている人と介護経験者が集まり、介護に携わる人の癒やしとなる場を、そして互いの抱える悩みや不安等を、本音で語り合える場を大切にしています。語り合いを通してお互いの情報交換と心身のリフレッシュを図るため、毎月1回の定例会のほか、在宅介護に関する諸問題の軽減に役立つ勉強会や講



演会を開催し、「ひまわり便り」を発行しています。

このような活動が続けられるのも、赤い羽根共同募金の配分金に支えられているおかげだと、日々感謝しております。

令和8年熊本地震義援金にご協力をお願いします

令和8年熊本地震で被災された多くの皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。本会では、この地震で被災された方々への支援を目的として、災害義援金を募集しています。お寄せいただいた義援金は、熊本・熊本県共同募金会・日本赤十字社熊本県支部で構成される義援金配分委員会において配分が決定され、被災地の市町村を通じて被災された方々へ届けられます。募金方法などの詳細につきましては、本会までお問い合わせください。引き続き、皆さまの温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

つながる縁側

開催しています！

参加者募集

「つながる縁側」とは？

地域みんなで畑作業を中心に活動しています。「畑作業はちょっと…」大丈夫です！昔ながらの「縁側」のように、世代を超えておしゃべりをしたり、お茶を飲んだりしながら、ゆるやかにつながる時間を過ごすだけでも大丈夫です！ぜひお気軽にお立ち寄りください！

コールメディカルクリニック福岡の職員有志が中心となって地域住民と活動しています！

こんな方におすすめ

◆地域の人とおしゃべりや交流を楽しみたい方
◆運動はしているけど、もっと「楽しさ」や「達成感」を感じたい方
◆世代を超えたつながりを作りたい方

●日時 毎週水曜日
9:00～10:30(出入り自由)

●場所 宗像市曲1562

●参加費 500円/年

●持ち物 汚れてもよい靴、帽子、水筒など

●事前予約不要
(当日、直接畑へお越しください)

●問い合わせ先
宗像市社会福祉協議会 ☎(37)1300

ご寄付 ありがとうございます

【香典返し】(敬称略)
・(故)中山虎彦(田熊)
・(故)大和照子(武丸)
・(故)白水政数(田熊)
【令和8年熊本地震義援金】(敬称略)
・ひかりヶ丘福祉会
・医療法人 庄正会 峰須賀病院
・藤岡 末英
・自由ヶ丘第三区会
・日の里まつり実行委員会
(令和8年8月31日までの受付分)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振り込みや現金書留などでも受け付けていますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

社協だよりは、偶数月発行です(年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会
宗像市久原180番地メイトム宗像内
☎(37)1300 FAX(37)1393
大島支所 宗像市大島1809番地32
ふれ愛センター内 ☎(72)2294
ホームページ <https://syakyo.munakata.com/>
メール info@syakyo.munakata.com
本会は、むなかたタウンプレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています

ひとり親家庭バスハイク

参加者募集中！

参加者募集

宗像市母子寡婦福祉会が、市内在住のひとり親家庭の親子を対象に、バスハイクを開催します。今年は、嬉野市の「元祖忍者村肥前夢街道」に行きます。

あなたも、ひとり親家庭の仲間と親子で楽しいひとときを過ごしてみませんか。

●日程 11月7日(土)

●対象 市内在住のひとり親家庭の親子

●行き先 佐賀県・元祖忍者村肥前夢街道

●参加費 ▶会 員＝1人500円
▶非会員＝1人1,000円

●定員 30人
(応募多数の場合は抽選)

●申込方法 10月15日(木)までに市社会福祉協議会 ☎0940(37)1300 へ電話で申し込む

認知症サポーター養成講座

開催のお知らせ

参加者募集

認知症になっても自分らしく安心して生活できる地域を目指して、「認知症サポーター養成講座」を開催します。みなさんもサポーターになって、住みよいまちを一緒につくっていきませんか？

【認知症サポーター養成講座とは】

認知症に対する理解を深める講座です(全国キャラバン・メイト連絡協議会に登録された講師が担当します)。

●日時 11月25日(水)14:00～15:30

●会場 メイトム宗像202会議室

●参加対象 市内に在住、勤務、通学する人

●参加費 無料 ●定員 30人※先着順

●申込方法
TEL または FAX で市社協まで

●締め切り 11月13日(金)

●その他 受講された方には「認知症サポーターカード」をお渡しします。